



みなさんのお気に入りの曲は何ですか。音楽家は短い曲の中に、何度も何度も考えて歌詞や音階を選び、想いを詰め込みます。みなさんのお気に入りの曲に込められたメッセージはなんでしょう。

曲に込めた想い

沖縄で開催された全国高等学校文化連盟研究大会の記念講演として「島唄」の作詞作曲をされたシンガーソングライターの宮沢和史さんが曲に込めた想いを講演されました。

宮沢さんは民謡に惹かれ、沖縄を訪問しました。「ひめゆり平和祈念資料館」を訪れた時、ひめゆり学徒隊だった女性が想像を絶する沖縄の戦争時の悲劇を語ってくれたそうです。宮沢さんは自分が沖縄戦にあまりにも無知であることに愕然とし、本土防衛の捨て石にされた沖縄の住民と、日米の兵士もあわせて20万人以上の死者を犠牲にして、戦後日本の平和があることを世の中に伝えたいと思ったそうです。そんな自分の想いを学徒隊だったその女性に伝えるためにつくったのが「島唄」です。当時はバブルの時代であり、戦争反対とストレートに歌っても届かないと考え、表向きは幼馴染の男女の別れにし、一語一語に裏の意味を持たせるダブルミーニングの歌詞にされました。

「でいごの花が咲き 風を呼び 嵐が来た でいごが咲き乱れ 風を呼び 嵐が来た」

歌詞はアメリカの艦船が海を埋め尽くし「鉄の暴風」といわれる艦砲射撃の嵐が降り注ぐ様子からは始まります。沖縄には「デイゴがたくさん咲く年は台風が多い」という言い伝えがありますが、1945年の鉄の暴風を台風に見たて、デイゴがたくさん咲いていたのではないかとイメージしたのです。

「ウージの森であなたと出会い ウージの下で千代にさよなら」

「ウージの森で歌った友よ ウージの下で八千代の別れ」

ウージ（サトウキビ）の畑で遊んでいた幼馴染同士が、その畑の下の防空壕になった「ガマ」で自決しあった悲劇に思いを込めた歌詞です。島唄は琉球音階が用いられていますが、この部分は西洋音階です。これは、彼らを自決させたのは日本（本土）であり、そう考えたら琉球音階はとても使えないと思われたからだそうです。ですから、ここでは三線も弾いていません。

「島唄よ 風に乗れ 鳥とともに 海を渡れ 島唄よ 風に乗れ 届けておくれ 私の愛を」

ガマを訪れた時、帰るところのない魂を感じ、その魂を解放したいという思いが込められています。

宮沢さんは、「美味しいものを食べ、高価なものを持つような毎日も楽しいかもしれないけれど、そんな一過性のことは何にもつながらないし、つまらない。100年先を考え、未来のために何が出来るのかを考えて行動して欲しい。そして、いつかやるではなく、今始めて欲しい」と語られました。

ものづくりに込める想いとして考えさせられる講演でした。 校長 松川 明義



【行事予定】 12月6日(火)：球技大会 7日(水)：E2 島根原発見学 8日(木)：午前中授業 午後放課
9日(金)：午前40分・午後50分授業 壮行会（7限）、パソコン利用技術検定
11日(日)：第1種電気工事士（技能）



今週末の大会等：バスケットボール西部新人戦、JRC リーダーシップトレセン、柔道選手権県予選